

令和 2 年度 事業 報告 書

公益目的事業（研究事業）

I. 蘚苔・地衣類の研究

1) 蘚苔類の多様性と分類

- (1) センボンゴケ科 Pottiaceae の分類学的研究を進め、研究成果を発表した。(論文 2 件)
- (2) ゼニゴケ科 Marchantiaceae の分類学的研究を進め、研究成果を発表した。(論文 1 件)
- (3) フタマタゴケ科 Metzgeriaceae の化石種の分類学的研究を進め、研究成果を発表した。(論文 1 件)

(4) ウキゴケ科 Ricciaceae の分類学的研究を進め、研究成果を発表した。(論文 1 件)

(5) ハネゴケ科 Plagiochilaceae の分類学的研究を進め、研究成果を発表した。(論文 1 件)

2) 地衣類の多様性と分類及び化学成分

- (1) 日本産地衣類のうち、これまで研究が不十分であった群を選び、分類・形態、化学成分、生態、分布について研究し、成果を発表した。(論文 2 件)

3) 蘚苔・地衣類の希少種及び絶滅危惧種

日本及び周辺地域に分布する蘚苔・地衣類の希少種及び絶滅危惧種に関する多様性・系統関係・分布・生態の調査・研究を行い、研究成果を発表した。(論文 4 件、学会発表 4 件)

II. 蘚苔・地衣類のデータベース作成

1. 蘚苔類タイプ標本(約 4,300 点)のデータベース作成を行い、当初の予定通り約 1,000 点の登録作業を行い、タイプ標本のデータベース化を完了した。
2. 日本産蘚類、苔類、地衣類のチェックリスト改訂の準備を行った。

III. 研究資料の収集・整理及び普及活動

1. 現地調査・交換・受入により、内外の蘚苔・地衣類の資料を収集した。

(1) 蘚苔類の標本 10,640 点(国内 7,224 点、外国 3,416 点)を収集・登録した。

(2) 地衣類の標本 63 点を登録した。

(3) 購入・交換により蘚苔・地衣類関係の文献 143 点(購入 25 点、交換 118 点)を入手した。

2. 蘚苔・地衣類関係の資料(標本、図書、別刷など)の整理を続けた。

(1) 本年度収集された標本 10,703 点の仕分けを行った。

(2) 本年度までに返却・寄贈された未仕分け標本の仕分けを続けた。

(3) 収納済み標本の仕分け見直しを引き続き行った。

(4) 国内及び外国産蘚苔類標本の整理・まとめ及び標本移動を行った。

(5) 研究論文原稿蔵書の整理を行った。

(6) 高知分室から移動した標本の整理を行った。

(7) 岡崎分室から移動した標本及び資料の整理を行った。

(8) 島田分室から移動した標本及び資料の整理を行った。

3. 国内外の研究者・研究機関からの要請に応じ、標本の貸出を行った。(国内 7 件 62 点、国外 2 件 4 点)

4. 国内外の研究者・研究機関及び同好者からの要請に応じ、蘚苔・地衣類標本の同定を行った。(2 件 2 点)

5. 自然保護及び蘚苔・地衣類を対象とした学術研究活動の発展に貢献するため、自然観察会、講演会、その他の普及活動を行った。

(1) 令和 2 年 7 月 日南市立飫肥中学校 総合学習校外授業(観察会)(日南市)参加者 11 名

(2) 令和 2 年 10 月 日南市立飫肥小学校 生活科校外学習(観察会)(日南市)参加者 60 名

(3) 令和 2 年 10 月 日豊観光バス株式会社(学習会)(日南市)参加者 30 名

(4) 令和 2 年 11 月 宮崎県緑化推進機構(学習会)(日南市)参加者 29 名

(5) 令和 2 年 12 月 宮崎県立日南高校 探求学講座(講演会)(日南市)参加者約 60 名

(6) 各種メディアへの対応を行った。内訳はテレビ 5 件、雑誌 6 件、新聞 8 件、ウェブ 1 件であった。

6. 研究活動の充実・発展及び社会に開かれた研究所として市民の生涯学習活動を支援する目的で、一般より市民研究員(3 名)を受け入れ、所属研究員と協力して蘚苔類に関する調査

研究を行った。

7. 蘚苔・地衣類学の発展及び服部植物研究所の研究活動に関する情報を広く一般に知ってもらうために常設展示場を設け、所蔵資料や研究成果等の展示・説明を行った。年間の入場者数は1,579人であった。
8. 展示場においてコケに関する書籍、物品の販売を行った。
9. ホームページ（日本語版・英語版）の更なる充実を図り、国内外の研究者及び一般の方に向けて情報を発信した。アクセス数は12,485であった。ソーシャルネットワークワーキングサービス（SNS）を通じてコケの魅力を世界へ発信した。
10. 若手研究者が当研究所で研究を行うための旅費等の補助を行った。（4名4回）
11. 資料へのアクセスや研究への利用状況の情報把握を行った。
 - (1) J-STAGE に掲載されている Hattoria (Vol. 1-11) へのアクセス数は4,331、論文 PDF のダウンロード数は5,834、財団法人服部植物研究所報告 (The Journal of the Hattori Botanical Laboratory) (No. 1-20, 71-100) へのアクセス数は4,273、論文 PDF のダウンロード数は27,500、蘚苔地衣雑報 (Vol. 9) へのアクセス数は5,022、論文 PDF のダウンロード数は3,602であった。
 - (2) 植物分類学に関連する主要な学術専門誌に掲載された論文のうち、研究所が発行した雑誌及び書籍が引用されている論文は60編、研究所の標本が引用されている論文は5編であった。

IV. 研究成果の出版

1. Hattoria Vol. 11 の編集作業を行った。
2. Hattoria Vol. 11 の J-STAGE 掲載及び無料公開を行った。
3. 財団法人服部植物研究所報告 (The Journal of the Hattori Botanical Laboratory) 及び Hattoria バックナンバーの販売を行った。
4. 財団法人服部植物研究所報告 No. 71-80 の J-STAGE 掲載及び無料公開を行った。
5. 当研究所発行の蘚苔類に関する書籍 (Moss Flora of the Pacific Northwest, Keys for the Identification of the Mosses of the Pacific Northwest, Catalog of the Mosses of Japan, Methods in Bryology) の電子化及びホームページ上での無料公開を行った。

その他の事業

1.1 収益事業

- ・土地の賃貸による収益事業をおこなった。
 - 1). 基本財産である宮崎県延岡市川島町の宅地をローソンに賃貸した。
 - 2). 基本財産である宮崎県日南市飢肥6丁目の宅地を駐車場（4台/月）として賃貸した。

1.2 山林事業

- ・分収林の伐採予定であったがコロナ禍で競売が実施されず、令和2年度は収益がなかった。（令和3年度に競売実施）

1.3 寄付金募集

- ・寄付金をホームページで募った他、様々な機会に寄付のお願いをした。また、展示場に募金箱を設置し入館者に対して寄付を募った。

2. 財団運営

2.1 理事会の開催

- ・令和2年6月13日（土）
議題・令和元年度事業報告書、収支決算書及び財産目録の承認の件
- ・令和3年3月13日（土）
議題・令和3年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件

2.2 評議員会の開催

- ・令和2年6月28日（日）
議題・令和元年事業報告書、収支決算書及び財産目録の承認の件
- ・令和3年3月28日（日）
議題・令和3年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件